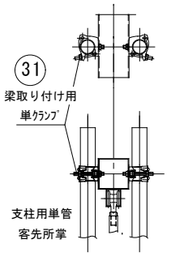
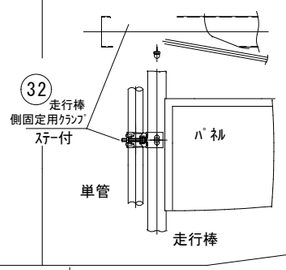
Ⓐ 梁、支柱用単管 取り付け要領図

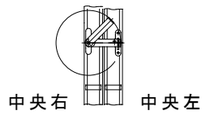


Ⓑ 走行棒端部 取り付け要領図

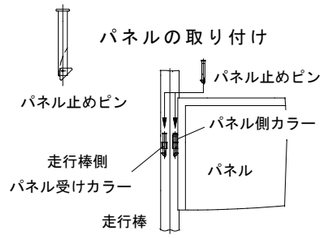


施錠図

中央走行棒裏面

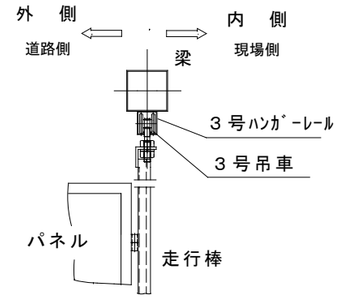


パネルの取り付け

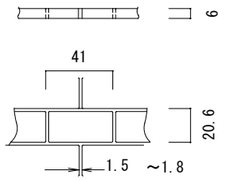


1．パネル側カラーを走行棒側パネル受けカラーの上に乗せる。
2．パネル止めピンを上から落としこむ。
1パネル：左右６ヵ所

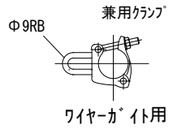
梁、走行棒、吊車 関連図



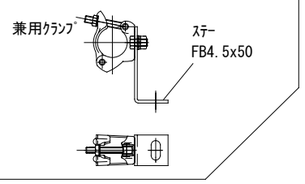
メッシュ部詳細



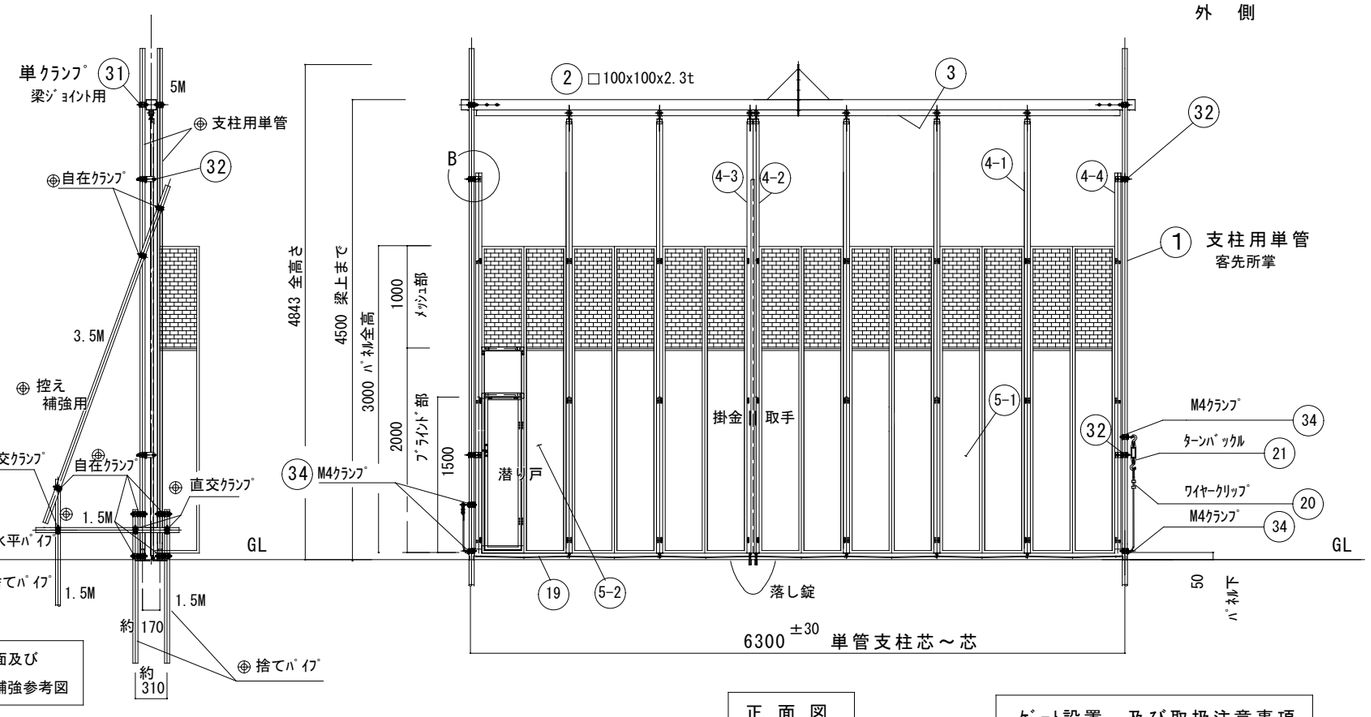
㉞ M4ｸﾗﾝﾌﾟ



㉜ 側固定用ｸﾗﾝﾌﾟ



平 面 図



側面及び
単管補強参考図

正 面 図

ﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ簡易型
ASP1-63型（ﾜﾝ）
主仕様表

間 口	柱 内内	mm	
	柱（基礎）芯芯	6300	
	開放時有効寸法	約 5660	
高 さ	全 高 さ	4843	
	梁 上	4500	
	ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ下	4343	

ＡＰ型パネル	パネルフレーム		アルミ合金
	パネル部材質		ポリプロピレン
	色 調		ホワイト
	高 さ		3000
	巾		１スパン 900
	厚 み		6
	種類形状	ＡＰ１型	上部１Ｍ メッシュパネル 下部２Ｍ ブラインドパネル

主部品、部材表

1	柱 足場用単管 客先所掌	4-1	□60x30x10x2.3t 走行棒 中 間	31	単ｸﾗﾝﾌﾟ 梁ｼﾞｮｲﾝﾄ用
		4-2	走行棒 中央右		
2	梁 □100x100x2.3t	4-3	走行棒 中央左	32	側ｸﾗﾝﾌﾟ 左右端走行棒固定用
		4-4	走行棒 側		
3	3号ﾊﾝｶﾞｰﾚｰﾙ	5-1	ﾊﾟﾈﾙ中間		
		5-2	ﾊﾟﾈﾙ潜り戸付ﾊﾟﾈﾙ	34	M4ｸﾗﾝﾌﾟ ﾜｲﾔｰｶﾞｲﾄﾞ
		19	ﾜｲﾔｰ		

補強用控えは参考図です。
客先殿にて有効な補強を行ってください。

⊕ 印部材、部品は客先殿にてご用意下さい。

ｹﾞｰﾄ設置、及び取扱注意事項

1．高さは梁上４５００mm $^{+20}_{-0}$ を目安に設置して下さい。
パネル下又はシート下よりＧＬの隙間は５０mmの設計値となっています。
ＧＬのレベルが不均一の場合は、一番高いところを基準としてください。
2．支柱用単管は強固に設置し、建て方完了後はなるべく周囲の強固なものへ繋ぎ、控えをとってください。
3．強風、暴風時にはパネル又はシート部を開放し、ワイヤー、単管等にて控えをとる等倒壊防止に必要な措置を講じてください。

NO.	NOMENCLATURE	MATERIAL	Q'TY 1SET	REMARKS
WEIGHT:	USER	殿		
3RD. ANGLE PROJECTION				
SCALE: 1/60	PURCHASER			
DATE:				
APPROVED:	TITLE	ﾊﾟﾈﾙｹﾞｰﾄ（ﾜﾝ） 簡易型 ASP1-63型 全体図		
CHECKED:				
DESIGNED:	TIPE			
DRAWN:	DWG. NO.	ASP1-63-0		

NK ENGINEERING CO.,LTD.
TOKYO JAPAN